



うわど



気づき 考え 高め合い チャレンジする上戸っ子

令和2年12月25日

川越市立上戸小学校 川越市上戸390-1 Tel 232-7200

2学期終了 保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。

黒須 淳一

暑かった長い夏が終わり、秋がいつの間にか通り過ぎ、早いもので、もう12月も去っていきようとしています。12月は2学期の締めくくりであると同時に、令和2年の締めくくりでもあります。冬休みを活用し、お子さまと一緒に、様々なことがあったこの一年をじっくりと振り返ってみるのもよいのではないのでしょうか。

さて、12月4日から10日まで人権週間がありました。今年の人権週間の啓発活動重点目標は『「誰か」のことじゃない。』です。私たちの身近にあり、重大な人権侵害であるいじめや虐待、また医療従事者への差別、偏見等について、誰かのことじゃない自分事として考えることのできる児童を育てていきたいと考えております。

いじめ防止には、日頃から取り組んでおりますが、それでもいじめが起こることもあります。日頃の児童の観察から悩み事を抱えている様子を察知した時は、声をかけ、話をするなどいじめかもしれないという姿勢で、学年や学校として組織的な取組を行っています。担任以外でも学年職員やスクールカウンセラーなどが積極的に関わります。

ところで、昨年度の全国学力・学習状況調査の児童質問紙では、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問がありました。「思う」と答えた本校児童は85.5%（全国85.0%）でした。「どちらかといえばそう思う」が10.5%（全国12.1%）、「どちらかといえばそうは思わない」が3.9%（全国2.0%）と回答していました。本校児童（昨年の6年生）の85.5%が答えたとおり、いじめは、どんな理由があってもいけないことです。「どちらかといえば」というあいまいさもあってはいけません。来年度は全員が、「いじめはいけないこと」と回答できるよう、さらに指導していききたいと思います。今後も継続していじめ防止に取り組んでいきます。ご家庭や地域でもお気づきの点がございましたら学校までご意見をお寄せください。

音楽会の中止について

学校では、1月の音楽会に向けて、子どもたちと共に練習に取り組んで参りました。しかしながら、コロナウイルスの感染状況は依然として高い水準で推移しており、市内においても感染の情報が伝えられているところです。また、12月21日に市内各学校に発信された川越市教育委員会からの通知によれば、「リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器の演奏は当分の間行わない」とのこととなりました。飛沫の拡散がないように鍵盤ハーモニカを取り入れた合奏の発表をと考えておりましたが、やむなく中止とせざるを得ない状況となりました。延期も考えましたが、この先も感染状況の見通しが不透明であること、そして授業計画との関連、子どもたちの健康、安全も含め、このような判断に至りました。ご理解いただきますようお願いいたします。

末筆ではございますが、寒さ厳しい毎日です。ご自愛ください。新年も変わらぬご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。